

メッセージ題「忘れる恵み」 <先週の講壇より>

「ヨセフは長男をマナセ（忘れさせる）と名付けて言った。『神が、わたしの苦労と父の家のことをすべて忘れさせてくださった。』」創世記 41:51 【新共同訳】

このところ、本当に物忘れが多くて困ったものです。教会でも、二階のオフィスに何かを取りに行ったはいいけれど、いざそこへ行ってみると「はて、何しに来ただけ？」ということがしばしば。覚えておかななくてはならないことは忘れてしまい、どうでもいいことはいつまでも心に引っかかって忘れられない・・・実に困ったものです。

しかし神様は、私たちの存在は決してお忘れになることはない。でも私たちが赦された罪は、雪のように白くし、忘れ去ってくださる。なんて都合のいいことだろうと思うのですが、それほどイエス様の十字架の愛と復活の命は尊いものだということです。

この神様だからこそ、あのヨセフが苦しみや痛みから解放され、まるで忘れ去ってしまったように癒されたがごとく、私たちにもその恵みを与えてくださるのです。確かに地上ではそれは部分的なものかも知れませんが、永遠の御国は全き癒し、そう、忘れる恵みに満ち満ちていることでしょう。



オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ

《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021 年 11 月 7 日

オレンジ郡
キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ 2 : 15

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈祷会 : (水) 18:30-

